

対島中学校 第1回学校運営協議会会議録

1 日時 令和5年4月21日（金）午後1時00分～午後2時20分

2 場所 伊東市立対島中学校図書室

3 出席者 宮川 正生（八幡野区長） 小内 正敬（PTA 会長）
日吉 基史（学識者） 山口 奈美（母親代表）
田畑 朝恵（コーディネーター） 佐藤 功次郎（元評議員）
荒井 威雄（校長）
*石井 照市（富戸区長）、和田元気（元協議員）は欠席

4 事務局 杉山 正晃（事務局） 佐藤 領（事務局）

5 会議の経過

（1）委嘱状の確認

（2）開会通告（事務局）

（3）校長挨拶

- ・コミュニティ・スクールの詳細について
（県教育委員会が作成したパンフレットを基に説明）
学校運営協議会を設置している学校のことで、3つの役割をもっている。
①学校運営の基本方針を承認すること。
これまでは学校だけで行っていた。これからは地域の方にも入っていただき、最終的には承認を受けるような形になる。
②学校運営について、意見を述べることができる。
学校は意見をいただき、次年度へ生かす。
③教職員の任用について、教育委員会に意見を述べることができる。
伊東市では、①、②を主に行っていく。
・地域学校協働本部について
今までもあったが、実働部隊として、コミュニティ・スクールと一体化して進めていく。つなぐ役を担っていただくのが、田畑さんである。

（4）委員紹介（名簿にそって、教頭より紹介）

（5）会長・副会長選出

事務局：伊東市立小中学校運営協議会規則第11条協議会により、会長及び副会長を置き、委員の互選により選出するとあるが、自薦、他薦をお願いしたい。

委員：区長は何年かに一度代わることがあるため、PTA 会長の経験があり、学校評議員でもあった和田さんが適任だと考える。

※挙手多数により、承認。

(6) 議事

事務局：規則第 11 条の 2 により議事進行は会長にお願いしたい。本日会長が欠席のため、どなたかに進行をお願いしたい。

※委員が挙手し、司会を引き受ける。

委員：副会長の選出を行う。自薦、他薦をお願いしたい。

※委員が挙手

委員：承認する方は、挙手をお願いしたい。

※挙手多数により、承認。

委員：協議事項について、令和 5 年度学校経営方針について

校長：グランドデザインは方針をまとめたものである。行政の方針や校内のアンケート結果、生徒のよさ、弱点、地域や家庭の思いもこめて、学校教育目標が決められている。現在、予測不可能な社会を迎えており、生徒が大人になったとき、自ら答えを見つけていく。そのために自分で課題をみつけ、解決方法を考え、試行錯誤していく。そうなるために、どのような生徒であればよいというのが、学校教育目標になっている。また、様々な学校生活の中で、生徒はこうしたいという思いをもつ。小さな達成感をもたせて、自信につなげていく。さらに、友達との関わりで自信をもつ。そして、いつか対島中でよかったと誇りをもつ。こういう状態で卒業したら、心地よさを忘れず、その後もがんばるのではないかと考える。それが未来へ伸びるということ。達成感をもたせた対島に愛着をもち、いずれ戻ってきたり、援助したりしてくれるとよい。

それをもう少し具体的にしたもの、重点目標がある。

【知性について】学習指導要領を身につけること、特に思考力、表現力を発揮できるように、自分を調整する力を重視する。さらに、特別支援学級が昨年度より開設されたが、言葉だけでなく見える化したり、見通しを持たせたり、ユニバーサルデザイン化というのが、通常級の指導にも生かせる。また、今はタブレットもあるので、授業で活用をしていく。対中ノートというものがあるが、家庭学習とセットになっている。予習、復習と予定がリンクしているため、活用をすすめる。

【感性について】議論する道徳と言われるが、授業の工夫、全てではないが、生徒

主体で行っていくなど特別活動の充実、共生・共育について特別支援学級があることのよさを生かす。人間関係について生徒も弱点だと感じている。スキルを学んだり、状態をチェックしたりしていく。

【社会性について】中学校がゴールではない。基本的な生活習慣の徹底や規範意識の向上など昔から言われていることではなるが、頭ごなしではなく、みんなで考えていく。キャリア教育については、進学だけでなく、見届けをしっかりとる。コミュニティ・スクールにより地域とのつながりを得たので、生徒を地域へ、地域から学校へ来ていただく。それが社会性を培う基礎となる。

今年度、協議会は2回のみで、次回は1月である。今年度どうであったのか、来年どうするのかという話をしていきたい。会はないが、行事に来ていただいたり、いつでも授業を見に来ていただいたりし、中間評価としてご意見をいただきたい。

後半は、目指す学校像についてで、これは教職員がどのようにしていくかである。対島中学校区で共通の実践項目を設定し、同じ方向を向いて指導していく。働き方改革については、時間外勤務が月に100時間を越える教員もいる。市内統一で部活動の終了時刻を決めた。また、5月から7月まで6時間目をカットし、部活時間は確保しながら、早く下校する。生徒だけでなく、教員も時間をつくることができる。また、自分たちでタイムマネジメントを行っていききたい。

委員：校長より説明があつたが、質疑がある方はお願いしたい。

委員：6時間目を切るという話があつたが、その分はどうする？

校長：年間に授業を行わなければならない授業時数が定められている。実際は、その時数より多めに計画されており、その余っている時間を削減した。また、今は家庭訪問を実施していないため、その分授業時数に充てているなど工夫している。

委員：それと家庭訪問をなくした。

校長：家の位置の確認はしている。

委員：勉強する時間が確保されているかというところが、皆さんの心配するところ。

委員：時間を精選して、子どもが集中して、先生も集中して取り組むということか。

校長：その通りで、その時間で効率よく学習できるよう授業改善を行っている。

委員：重点目標の1つめは授業改善を中心に、2つめは道徳や主体的に活動していけたらとあつたが。

委員：特別支援学級の話があつたが、以前、福祉に関わる仕事をしていた。思いやり

が育つと思うし、今までにないよさができることを期待する。市内で対島中よいと言われる機会がある。中身がとてもよいと言われるような、それを目指す内容になっていると思う。

校長：今年度、特別支援学級に3年1名、1年2名が在籍しているが、体育の授業に通常学級と一緒に授業を行っている。また、通常級に車椅子で生活する生徒が入学した。一緒に生活することで、お互いを感じる場所がある。

委員：これまで3年生の教室は2階であったが、1年生を2階にしたのも環境整備ということ。

委員：規則第4条に協議会の承認を得るものとするところがある。校長から示された令和5年度学校経営方針を承認される方は挙手をお願いします。

※挙手多数

委員：挙手多数により承認された。

委員：その他連絡事項について

事務局：「対島中でよかった」と思える学校づくり協力員募集について、校長より補足する。

校長：地域とつながるために、具体的に考えていることがある。1点目が学習面について。コロナが5類に移行するということもあるが、総合的な学習の時間に講師等で協力いただきたい。2点目が地域のイベント等を学校で紹介し、生徒が積極的に参加していきたい。3点目は、環境整備に力を借りたい。よい環境で感性は培われる。第1段として環境整備をしたい。報酬は出せないが、日時を設定せず、短い時間でも構わないので作業してもらおう。ボランティアの形にはなってしまうが。もう1つは、地域のお花の先生に来ていただき、生徒に指導してもらおう。先生のアドバイスを受けて花を生け、校内に飾る。処理の仕方を聞き、自分たちで片付け、また翌月お願いするような形ができないかと考えている。

委員：指導はボランティアでやっていただいても、お花代はかかる。

校長：お金の出所は検討しなければならない。

委員：環境整備で伐採等をしてもらっても、処分費がかかる。

校長：市にかけあう。

委員：PTA 奉仕作業のときなど、無料回収をしてくれている。

委員：伐採等は知り合いの造園屋さんに声をかけることはできるが。

委員：市では環境課に言えば、処分してもらえる。校長から申し込めば無料だと思う。
先日、八幡野区もお願いした。美化センターに直接持って行っても、トラック
1 台で4～500 円程度で回収してもらえる。

校長：どこかにためておいて、たまったら持っていってもらおう。

委員：ためておくのは大変なので、すぐにやった方がよい。

委員：日時を設定してやった場合は、すぐに処分した方がよいが、手が空いたときに
自由にやってもらうとなると、ためておかなければならない。

委員：学校も市の施設なので、相談すれば大丈夫だと思う。

委員：地区のものは回収するときに、何センチ以下に下さいという指定がある。そ
れが大変である。

委員：伐採し、チェーンソーで切ってもらってしぼるとかすればよいのではないか。

校長：学校では大きな袋にいれて、取りにきてくれている。いろいろな方法を検討して実
現できそうであれば、処分の方も具体的に検討していく。

委員：体育館につながるところもとてもよい環境であるので、大切にしていきたい。

校長：お知らせを回覧板で回したい。頼める方がいれば声をかけてもらいたい。

委員：月に1 回、回しているので、言ってもらえればできる。コミセンに持っていく。

委員：保護者ではなく、地域の方を対象にするということだが、なかなか来ないので
はないか。また、PTA 会長や区長のところに質問がいくことがあるので、今日来
ていない富戸、赤沢、池区にも連絡をしておいた方がよい。

委員：区長宛てに文書とパンフレットを送ってもらいたい。

委員：生け花はまだにしておいて、まずは、環境整備だけをやるというのがよいので
はないか。

委員：かつて子どもがいた人が協力してくれるかもしれない。

委員：空いている時間にという話があったが、1回やると何度かやらなければならないと考える人もいると思う。

委員：生け花は個人的に声をかけた方がよい。

委員：たくさん来てしまうことも考えられる。

校長：生け花は田畑さんに知っている方に頼む方がよさそうである。

委員：環境整備も丸投げにするのではなく、

校長：チームをつくった方がよいのだろうか。

委員：月1回来られる方、月に2回来られる方、ごみはこうします、など具体的な方がよいかもしれない。

委員：区ではボランティアとスケジュールを組んで実施する2通りがある。1回募集して、相談した方がよい。

委員：收拾がつかなくなるかもしれない。

校長：もう少し形を整えてからにする。

委員：例えば奉仕作業に地域の方を呼ぶなどの方法も考えられる。

校長：PTAとは別に少しずつでもやりたい。すぐにでも動き出したい。

委員：それならば、PTA でやったが、できないのでお願いしたいと明確にした方がよい。

校長：次回の運営協議会が1月なので、皆で集まらないため、会長と副会長と相談して進めてもよい。区に関わることは区長に相談する。

委員：やはり PTA 奉仕作業でできなかったのも、力を借りたいという形の方がよいのではない。

委員：基本は受益者負担であるべき。自分の子どもがいる、自分の学校は自分でということ。足りないところを募集する。少ない人数では大変である。

校長：継続するのが大変である。一度きれいにし、その後の管理をやっていただきたい。
大仁の道沿いがいつもきれいにされている。ボランティアの人が関わっていただくとありがたい。

委員：交通指導員もやっているが、自分の子どもが通っているのに、旗振りに来ない人もいる。続けていくなれば当番制のようにしたらどうか。

校長：強制はできないので、また、考えて動きたい。

委員：案内は出した方がよい。

委員：学校目標が、生徒の目線、保護者の目線、教員の目線が入っているのがとてもよいと思った。どちらかだけでなく、双方がというのがよい。今の取組だと、地域の方にだけお願いになっている。学校も、保護者も、生徒もやったが、それでも難しいので、地域の力をお願いしたいという方がよいと思う。

委員：草取りをやったことがない生徒もいるかもしれない。

委員：運動会前によくやる。

校長：そういう視点も入れて、一考する。

事務局：学校でも相談していき、次につなげたい。

次回の予定を載せたが、行事のお知らせは出すので、いつでもご意見をいただきたい。

校長：報酬の関係で2回と決められている。来年度は回数を増やしたい。報酬の手続きは後ほどお願いしたい。

(7) 閉会通告(副会長)